

位置情報ビッグデータ活用プラットフォーム Location AI Platform™ (LAP)

エリアマーケティング施策の実施により 競合とのシェアが変わった、広告効果があった、などの地域を 位置情報データから可視化できる新機能をリリース

~コロナ禍で変わった消費者の移動や購買行動をすばやく捉え、販促活動や品揃えの改良を支援~

位置情報ビッグデータ活用クラウド型プラットフォーム「Location AI Platform™ (ロケーションエーアイプラットフォーム、以下「LAP）」を開発・提供するクロスロケーションズ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:小尾一介、以下クロスロケーションズ)は、2020年 8月24日に、小売・外食・メーカー企業より要望の多かった2点の新機能(「来訪シェアマップ」「期間比較マップ)」の提供を開始します。



▲ 広告配信前後の効果が丁目単位で、競合との来訪シェア(来訪占有率)の変化と合わせてわかる

LAPは、AIが位置情報ビッグデータから消費者行動の分析・見える化を行った上で、位置情報を使ったスマホ広告、LINEなどのSMS広告やDM、チラシ、ポスティングなどのエリアマーケティングの実施と効果測定を一気通貫で実行できるプラットフォーム製品です。

コロナ禍において人々の外出自粛と緩和が繰り返され、その行動や購買動向が大きく変わる中、今後も消費者に選ばれるお店・商品として成長していくためには、より一層の消費者理解と新たなライフスタイルに合わせた「マーケティング戦略」の実施が不可欠です。

しかし、コロナ禍の影響で、客層や商圈が変化したので、従来の地域・エリア向け広告施策の妥当性への疑問や見直しの必要を感じていても、判断材料が乏しく、明確な状況把握がしづらいという課題がありました。

今回の新機能の追加により、各地域(丁目レベル)ごとの変化を期間別に比較可能になりました。コロナ禍による地域変化を捉える事が可能になるに加え、データに基づいて実施した「マーケティング施策(スマホ広告、SNS広告、DM

など)により、自社店舗・施設と競合店舗・施設の各地域でのシェアの変化を確認でき、施策実施前後の効果検証等が可能になりました。

来訪シェアマップ

(グループ) 東京三田スーパーマーケット_2019~2020 (2019/06/01~2020/07/31)

丁目	2019/06/01~2019/07/31	2020/06/01~2020/07/31	変化率	
B4丁目	3.2%	0.7%	1.5%	4.8%
B3丁目	3.0%	0.9%	1.9%	5.2%
B2丁目	2.9%	0.2%	0.3%	1.4%
B1丁目	2.5%	0.2%	0.4%	2.3%
B5丁目	2.5%	1.2%	2.7%	6.3%
B4丁目	2.1%	—	—	2.6%
B2丁目	2.1%	—	—	2.3%
B1丁目	1.9%	0.3%	0.5%	3.0%

最大5店舗の来訪シェアの比較が可能。シェアの割合の確認には、地図の色合いとパイチャートで確認できる。
データはCSV形式でダウンロード可能。

期間比較マップ

ウィジェットの種別(期間) 期間比較マップ

ホーム

表示名

防犯条件 (期間別)

2019/06/01~2019/07/31

防犯条件 (期間別)

2020/06/01~2020/07/31

比較店舗1

表示名

防犯条件 (期間別)

2019/06/01~2019/07/31

防犯条件 (期間別)

2020/06/01~2020/07/31

期間比較マップ

自店舗と競合店舗の来訪シェアの期間別の比較が可能。4つの指標で丁目の評価を行い、丁目単位で競合の影響や広告効果を把握することができる。

4つの指標

- ・優良エリア: 好調にシェアを伸ばしているエリア
- ・成長エリア: 伸び代があり、販売強化すると良いエリア
- ・課題エリア: 代替サービスの利用可能性があり、対策が必要なエリア
- ・見直しエリア: 市場規模の縮小または競合の影響が高いエリア

凡例

① 優良エリア 好調に推移！ 競合店の影響に注意	② 成長エリア 販売強化エリア、 まだ伸び代がある
③ 課題エリア 代替サービス利用の 可能性あり、 顧客体験向上が必要	④ 見直しエリア 市場ボリュームが減少、 または別の競合が高 る可能性あり。

スーパー ● 優良エリア (来訪率○ 市場シェア○) ● 成長エリア (来訪率○ 市場シェア×)
● 課題エリア (来訪率× 市場シェア○) ● 見直しエリア (来訪率× 市場シェア×)

今回追加される新機能

1. 競合とのシェア率の変化をデータで把握

自社店舗・施設に来訪する消費者の居住エリアにおける競合店舗・施設とのシェア比較を位置情報ビッグデータから解析し、状況把握できます。複数の期間を比較することで、コロナ禍による変化も視覚化できます。

2. 広告効果をエリア単位で検証、分析だけで終わらないデータ活用を実現

LAPは、位置情報ビッグデータを解析し、その結果をモバイル広告・ポスティングなどのマーケティング施策が可能なプラットフォーム製品です。今回の新機能実装により、広告の効果をエリア(丁目)単位で分析できます。広告実施前後の来訪率・シェア率がエリア単位で検証でき、各販売促進施策と効果測定が行えます。

今後もクロスロケーションズは、「Location AI Platform™」の更なる機能開発を通じて、位置情報を社会の多様化するニーズや市場環境に活用できるサービスの開発・提供してまいります。

■ 製品の概要

概要: 位置情報ビッグデータ活用プラットフォーム Location AI Platform™
(2つの新機能ウィジェット: 「来訪シェアマップ」「期間比較マップ」も、利用可能)
価格: 50万円/月

■ セミナーのご案内

「コロナ禍の消費者行動変化をデータで把握 位置情報とSNS広告で実施する最適なコミュニケーション」

開催日: 8/28(金) 17:00-18:00

会場: Zoom

費用: 無料

詳細: <https://www.x-locations.com/seminar/20200828>

「コロナ禍で大変化！顧客理解のために位置情報ビッグデータ活用」

開催日: 9/3(金) 17:00-18:00

会場: Zoom

費用:無料

詳細:<https://www.x-locations.com/seminar/20200903>

■ トライアルのお知らせ

今回の機能追加に伴い、Location AI Platform を実際にお試しいただける無料トライアルキャンペーンを行います。ご希望の場所を Location AI Platformにて解析、その結果をハンズオン形式でご案内いたします。是非この機会に、ロケーションデータのマーケティング活動への活用をご検討ください。

分析地点数:ご希望の5カ所

費用:無料

申込URL:<https://www.x-locations.com/peopleflow-map>

■ クロスロケーションズ株式会社について

「多種多様な位置情報や空間情報を意味のある形で結合・解析・視覚化し、誰でも活用できるようにすること」をミッションとしています。位置情報ビッグデータをAIが解析・視覚化する独自技術である「Location Engine™」の開発と、それをビジネスに生かすプラットフォームである「Location AI Platform™」の開発・提供により、「ロケーションテック」を推進しています。

代表者:代表取締役 小尾一介

所在地:〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-2-9 小林ビル6F

事業内容:位置情報ビッグデータ解析エンジン「Location Engine™」の開発と、
ビジネス活用クラウド型プラットフォーム Location AI Platform™ の開発・提供

URL:<https://www.x-locations.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

クロスロケーションズ株式会社 広報担当 秋山

Email: pr@x-locations.com

TEL:03-5734-1666